



10月20日、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、「小学校連合運動会」が3年ぶりに開催されました  
<IIMURO GLASS市民スポーツセンターにて>

# 令和3年度5会計決算を賛成多数で認定

## 米海軍厚木航空施設からのPFOS等の流出に関する要請書を国に提出

### 9月定例会

9月定例会が、9月1日から9月28日までの28日間の会期で開かれました。この定例会では、令和3年度5会計決算、令和4年度一般会計及び介護保険事業特別会計の補正予算、綾瀬市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例、動産の取得、市道路線の廃止・認定、綾瀬市教育委員会委員の任命など、市長から提出された12議案を審議し、それぞれ認定、可決、同意しました。議員提出議案では、意見書1件を可決しました。陳情は、1件を趣旨了承と決しました。(議案名と審議結果は8ページに掲載)  
また、10月7日に基地政策特別委員会を開催し、米海軍厚木航空施設からのPFOS等の流出に関する要請書を国に提出しました。(要請書の本文は7ページに掲載)

#### 歳入歳出決算の認定

令和3年度5会計決算は、歳入等総額が564億4144万円、歳出等総額が536億701万円で、前年度と比較し、歳入等は2%の減、歳出等は5.2%の減となりました。

一般会計では、歳入が対前年度比5.7%減の365億2987万円で、その内訳は、市税などの自主財源が45.9%、国庫支出金などの依存財源が54.1%の割合でした。歳出は、対前年度比10%減の、333億5579万円で、主に、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた子育て世帯や住民税非課税世帯等への給付金給付事業などに要した民生費が、140億5746万円で42.1%を占め、次に、活性化応援寄附金事業の実施に伴う返礼品などに要した総務費が、57億596万円で17.1%を占めました。

増加などにより、対前年度比3.4%の増となりました。また、後期高齢者医療事業は、歳入では保険料が被保険者数の増加に伴い、対前年度比2.4%の増となり、全体の80.7%を、歳出では広域連合への納付金が全体の93.6%を占めています。

公共下水道事業会計では、下水道使用料などの収益的収入は30億2723万円で、維持管理費などの収益的支出は23億6020万円となりました。また、事業に充てる企業債などの資本的収入は11億269万円で、工事費などの資本的支出は22億6190万円となりました。主な建設改良事業は、下水道管路施設や終末処理場施設の耐震工事などを実施しました。

#### 補正予算

一般会計(第4号)、介護保険事業特別会計(第1号)の2会計総額で8億9541万6千円増額するもので、2議案をそれぞれ可決しました。

#### 条例

綾瀬市職員の育児休業等に

消防ポンプ自動車の取得を可決しました。

#### 動産の取得

道路の払い下げに伴う廃止1件と開発行為により帰属された道路の認定1件をそれぞれ可決しました。

#### 市道路線の廃止・認定

人事案件

#### 人事案件

○綾瀬市教育委員会委員の任命について  
齊藤隆訓氏(早川城山)を任命することに同意しました。

#### 議員提出議案

○国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の実現を求める意見書  
義務教育費国庫負担制度を存続・拡充し、義務教育教科書無償制度を継続することも、行き届いた教育を実現するための予算を確保・拡充することを求めるもので、可決しました。

#### 報告

○令和3年度綾瀬市一般会計継続費精算報告書について  
○令和3年度決算に基づく健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について

